

令和4年度 国語科

教科	国語	科目	現代文B	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	高等学校「新編現代文B改訂版」(大修館書店)						
副教材等	プレミアムカラー国語便覧(数研出版) 実践文字力トリプルチェック(尚文出版)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・2年生では社会人に必要となる基礎的な国語力と応用力を身につけます。 ・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」、意思を伝えるための「書く能力」を身につけます。 ・筆者の考えや感じ方を理解し、自分の日常生活に置き換えて考えられるようになります。 ・毎回の授業を大切に、予習および復習をして取り組みましょう。 ・提出物の期限は必ず守り、定期考査は計画を立てて臨みましょう。
--

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。 ・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。 ・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。 ・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。 ・日本語に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、表現の仕方を工夫して話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じて、文章の形態や語句を工夫することで、適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章の内容を的確に読み取ったり、人物、情景、心情などの表現に即して読み味わったり、目的に応じて幅広く読み、自分の考えを深め、発展させている。	言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	行動の観察記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (ノート、ワークシートや、発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析 (ノート、ワークシート等) 定期考査	記述の確認及び分析 (ノート、ワークシート等) 定期考査	行動の観察記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査、小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	言語活動	「近代以降」教材 「自己紹介をする」	○	◎			○	a: 誰に向かって、何のためにどのような条件で話すのかを考えようとしている。 b: 誰に向かって、何のためにどのような条件で話すのかを考えようとしている。 e: 話すこと、聞くことに必要な文の組み立てについて理解している。	abe 行動の観察と確認、記述の点検
	随筆	「近代以降」教材 『迷う』ちからのすばらしさ	○			◎	○	a: 筆者独自の考え方や感じ方を表現の特徴に注意して読み取ろうとしている。 d: 筆者独自の考え方や感じ方を表現の特徴に注意して読み取り、人それぞれの感性について理解を深めている。 e: 漢字などについて、正確に理解し、知識を身につけている。	a 行動の観察と確認、記述の点検 de 記述の確認と定期考査
	評論1	「近代以降」教材 「言葉は変わるもの、されど伝承すべきもの」	○			◎	○	a: 論の展開に注意して筆者の考えを読み取り、日常使われている言葉を見つめ直し、日本語の豊かさについて目を向けようとしている。 d: 論の展開に注意して筆者の考えを読み取り、日常使われている言葉を見つめ直し、日本語の豊かさについて考えている。 e: 伝統的な日本語についての知識を広げている。	a 行動の観察と確認、記述の点検 de 記述の確認と分析と定期考査

※令和3年度以前入学生用

1学期	小説1	「近代以降」教材 「ざしきわらし」 「ナイン」	○		○	◎	○	<p>a:時間の経過をおさえながら、登場人物の心情を読み取ろうとしている。</p> <p>c:時間の経過をおさえながら、登場人物の心情を理解し、文体や語句などを適切な表現の仕方 で感想を書いている。</p> <p>d:時間の経過をおさえながら、登場人物の心情や人間関係を読み取り、作品の成立背景について考えを深めている。象徴的に描かれているものについて読み取ることができる。</p> <p>e:漢字などについて、正確に理解し、また、作者についての知識を身につけている。</p>	<p>ac 行動の観察と記述の点検</p> <p>cde 記述の確認と定期考査</p>
	暑中見舞いの作成	「近代以降」教材 「暑中見舞いを書こう」	○		◎		○	<p>a:相手や目的に応じて題材を選び、文体や語句などを工夫して書こうとしている。</p> <p>c: 相手や目的に応じて題材を選び、文体や語句などを工夫して書いている。</p> <p>e:語句の意味や用法、および表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。</p>	<p>ace 行動の観察、記述の点検</p>

※令和3年度以前入学生用

	詩	「近代以降」教材 「小諸なる古城のほとり」 「小景異情」	○	◎	○	○	a: 作品の表現の豊かさを味わい、そこに託された作者の心情について考えようとしている。 b: 作品のリズムや響きを考えながら工夫して音読している。 d: 作品に託された作者の心情について考える。 e: 作者についての知識を持ち、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a 行動の観察と記述の点検 de 記述の確認と分析と定期考査
2 学期	言語活動	「近代以降」教材 テーマを設定して調べた成果をまとめる。	○	◎	○	○	a: 学習活動に意欲を持ち、積極的に取り組んでいる。 cde: 情報の適切な集め方を理解し、調べたことをわかりやすく書いてまとめることができる。	acde 行動の観察と記述の点検
	評論2	「近代以降」教材 「ゴリラの思いやり」	○	◎	○	○	a: 生き物の生態や現代における「自然」のあり方について考えを深めようとしている。 d: 生き物の生態や現代における「自然」のあり方について考えを深めている。 e: 文章の展開のしかたに注意し、具体例の役割を理解することができる。	a 行動の観察と記述の点検 de 記述の確認と分析と定期考査
	小説2	「近代以降」教材 「山月記」	○	◎	○	○	a: 主人公の心情を的確に把握し、人の心のありようについて考えを深めようとしている。 d: 主人公の心情を的確に把握し、人の心のありようについて考えを深め、作品の主題について理解できる。 e: 文章の形態や特色について理解している。	a 行動の観察と記述の点検 de 記述の確認と定期考査

※令和3年度以前入学生用

	短歌	「近代以降」教材 「短歌」	○		◎	○	<p>a:短歌独特のリズムを味わい、表現に即して作品に込められた作者の心情を読み取ろうとしている。</p> <p>d:短歌独特のリズムを味わい、表現に即して作品に込められた作者の心情を読み取っている。</p> <p>e: 文章の形態や特色について理解している。</p>	<p>ab 行動の観察と記述の点検</p> <p>de 記述の確認と分析と定期考査</p>
	随想	「近代以降」教材 「ももこのいきもの図鑑」	○		◎	○	<p>a:ユーモアや人間性に富んだ特色ある文章を楽しもうとしている。</p> <p>d: ユーモアや人間性に富んだ特色ある文章を楽しみ、筆者の着眼点と表現の面白さを味わうことができる。</p> <p>e: 漢字などについて、正確に理解し、知識を身につけている。</p>	<p>a 行動の観察と記述の点検</p> <p>de 記述の確認と定期考査</p>
3 学期	評論3	「近代以降」教材 「メディアって何？」	○		◎	○	<p>a:メディアの特質に興味を持ち、現代における技術の進歩と人間のかかわり方について考えようとしている。</p> <p>d: 筆者の主張を理解し、現代における技術の進歩と人間のかかわり方について考えることができる。</p> <p>e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。</p>	<p>a 行動の観察と記述の点検</p> <p>de 記述の確認と定期考査</p> <p>e 小テストと定期考査</p>

※令和3年度以前入学生用

	随想	「近代以降」教材 「祖母が笑うということ」	○		◎	○	a: 「僕」と祖母とのやり取りに興味を持ち、作品を読み味わっている。 d: ユーモアや人間性に富んだ特色ある文章を楽しみ、人と人との心の触れ合いの温かさを読み取ることができる。 e: 漢字などについて、正確に理解し、知識を身につけている。	a 行動の観察と記述の点検 de 記述の確認と定期考査
--	----	--------------------------	---	--	---	---	---	--------------------------------------

- ※ 表中の観点について
- | | |
|-------------|------------|
| a: 関心・意欲・態度 | b: 話す・聞く能力 |
| c: 書く能力 | d: 読む能力 |
| e: 知識・理解 | |

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。